

# あさピー☆アカデミー第6回

いよいよ最終回「南極を学ぶ」です。講師(株)NECネットエスアイの田仲宏至さんは、第54次南極観測隊員(通信機器担当)として、約1年間南極で生活していました。成田空港から南極までの道のりや、「砕氷船しらせ」が氷を砕いて進む迫力ある映像を見せてもらい、みんなすっかり隊員気分です。自然環境の厳しい南極では、昭和基地内の限られた空間や資源を大切に、みんなで工夫しながら明るく楽しく生活している様子がよくわかりました。丸く凍るシャボン玉、氷の溝での流しそうめん、基地内で育てた野菜など、面白いエピソードも教えてもらい、人懐っこいペンギンやきれいなオーロラの写真も見せてもらいました。

南極クイズ! Q:南極大陸の大きさは? A:日本の約37倍です。大陸の上にはkm以上の厚さの氷がのっています。



今は持ち帰ることができなくなった南極の氷、今回は特別に用意してもらいました! 何十万年も前に閉じ込められていた太古の空気が弾ける音に感動!!



実際に使用した防寒着を着てみました

参加者の感想:★南極に着くまでも大変で、着いてからも大変なことがわかった。オーロラがすごくきれいだった。南極に行ってみたい!! ★氷を実際に見て歴史を感じた。その氷に水をかけると、パチパチ音が鳴り、楽しかった。★実際に南極に行った観測隊員の方の話を聞きながら、昭和基地内の実際の映像を見ることができたのはとても貴重でした。★南極の氷を初めて見て、実際に溶けるときの音がきれいだった。★家でインターネットを検索して調べたり、聞いてきたことを家族に話したり、家族で南極について知るととても良い機会となりました。